

# サイアム商業銀行(SCBn)

**DX戦略を推進。デジタル取引による貸出・収益が急成長。先端金融分野強化でAISやCPグループと提携**  
タイ | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SCB:TB | REUTERS SCB.BK

- 2021/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比7.0%増、純利益が同90.0%増。経費率の低下および予想クレジット損失減少が貢献した。
- 純金利収益は減収だったが、非金利収益で純手数料・サービス収益が堅調に推移。通期会社計画に対する1-9月実績の進捗は順調。
- DX戦略では、デジタル取引による貸出と収益が急成長のほか、先端金融強化のため通信最大手AISや最大財閥CPグループと提携を発表。

## What is the news?

10/21発表の2021/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比7.0%増の369.10億THB、営業費用が同0.4%増の158.13億THB、予想クレジット損失が同22.5%減の100.35億THB、純利益が同90.0%増の88.13億THB。純受取手数料・サービス収益の増加が増収に寄与。それに加えて、経費率が同2.9ポイント低下の42.8%へ改善したことが最終増益に貢献した。前四半期比では、総収益が1.2%増だったものの、新型コロナウイルス感染再拡大を受けて経費率の上昇悪化および与信関連費用の横ばい推移により、純利益は同額だった。貸出の質に関しても、9月末の不良債権比率(グロス)が前四半期末比0.1ポイント上昇悪化の3.89%となった。

3Qの総収益の内訳は以下の通り。①純金利収益は前年同期比0.8%減の235.33億THB。9月末貸出残高が同5.0%増だったものの、純金利マージン(NIM)が同0.10ポイント低下の3.02%に悪化したことが響いて減収。②非金利収益は同24.3%増の133.77億THB。純手数料・サービス収益が同12.8%増、および金融商品の公正価値変動利益の増加が増収に貢献。

## How do we view this?

通期会社計画は以下の通り。貸出残高は前期比3-5%増(9M実績5%増)、NIMが同3.0-3.2%(同3.0%)、非金利収益が前期比横ばい(同16%増)、経費率が40%台前半(同42.0%)、グロス不良債権比率が4.0-4.5%(同3.9%)と、対計画比で順調に推移している。

同行が重点を置くデジタル化(DX)戦略では、デジタル・プラットフォーム(SCB EASY、Robinhood、Shopdeal、Monix、およびAbacus)のユーザー数が9月末で前四半期末比11.8%増の18百万人となった。また、デジタル取引による貸出残高が前年同期比85%増、無担保ローンに占める比率が23%(6月末実績20%)となったほか、同デジタル収益が同53%増、総収益に対する比率も4%となるなど急成長中だ。更に、今年9月にタイ通信最大手アドバンスト・インフォ・サービス(AIS)と共同出資会社の立上げを発表。AISの顧客基盤と通信網を使い、コロナ禍で高まるデジタル金融の需要を取り込む狙いだ。それに加えて、タイ最大財閥チャロン・ポカパン(CP)グループと6-8億ドルのベンチャーキャピタルの立上げも発表。ブロックチェーンや暗号資産などの先端金融分野へ投資を加速する方針だ。

## 業績推移

※参考レート 1THB=3.43円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
当期利益(百万THB)	40,067	40,436	27,217	34,154	37,872
EPS(THB)	11.79	11.90	8.01	9.94	11.10
PER(倍)	11.28	11.18	16.60	13.38	11.98
BPS(THB)	111.91	117.89	121.15	127.95	134.71
PBR(倍)	1.19	1.13	1.10	1.04	0.99
配当(THB)	5.50	6.25	2.30	3.81	4.58
配当利回り(%)	4.14	4.70	1.73	2.86	3.45

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB) **3.81** (予想はBloomberg)  
終値(THB) **133.00** 2021/11/8

## 会社概要

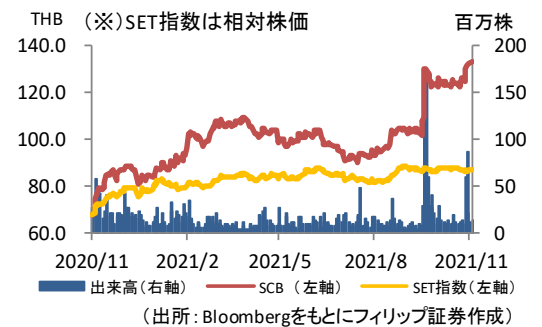
1904年にラーマ5世国王の兄弟であるマヒサラ・ラジャハルダヤ王子のパイロットプロジェクトのもと、タイ初の国法銀行「Book Club」として創業。1907年に本格的な商業銀行として設立された。「タイの銀行のプロトタイプ」として、タイ経済の発展に寄与してきた。1976年、タイ証券取引所に上場を果たした。

タイを代表するユニバーサルバンクで、幅広い金融商品・サービスを提供している。リテール向けには住宅ローン、個人ローン、自動車割賦販売、クレジットカード、ATMカード、デビットカード、外国為替取引、海外送金などのほか、投資商品やパンカシュランス商品を提供する。コーポレート、ビジネス向けには、キャッシュ・マネジメントサービス、企業融資、貿易金融、投資銀行サービス、アドバイザリー、その他財務関連サービスを提供する。

主要な子会社に「SCB証券」、「SCBアセットマネジメント」などがある。タイのほか、シンガポール、香港、上海、ラオス、ベトナム、カンボジア、ケイマン諸島に拠点を持つ。

## 企業データ(2021/11/9)

ベータ値	1.17
時価総額(百万THB)	451,621
企業価値=EV(百万THB)	-
3か月平均売買代金(百万THB)	2,194.9



## 主要株主(2021/11)

株主	(%)
1.KING MAHA VAJIRALONGKORN	23.38
2.VAYUPAK FUND I	23.13
3.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	10.23

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘  
+81 3 3666 6980  
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>